

# 令和4年度第1回恵庭創生懇談会

日 時 令和4年7月7日（木）13時30分～15時00分  
会 場 恵庭市役所 3階 第2、第3委員会室

## 次 第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 恵庭創生懇談会委員自己紹介
4. 座長選任
5. 議 事

### <報告>

- (1) 恵庭市総合戦略と恵庭創生懇談会について…資料1
  - (2) 第2期恵庭市総合戦略 数値目標・KPIについて  
…資料2
  - (3) 令和3年度地方創生推進交付金 交付実績及び効果  
検証について…資料3
  - (4) 令和4年度地方創生推進交付金 採択状況について  
…資料4
  - (5) ポストコロナのまちづくり戦略形成事業について  
…資料5
6. その他
    - ・第39回全国都市緑化北海道フェア ガーデンフェスタ  
北海道2022について

## これまでの国と恵庭市の地方創生に関する取組経緯

平成26(2014)年9月	【国】直面する人口減少克服・地方創生という構造的な課題に取り組むため「まち・ひと・しごと創生本部」を設置
平成26(2014)年12月	【国】「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(国の長期ビジョン)」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略(国の総合戦略)」を策定 > 地方自治体に対しては、 <u>平成27年度中に地方版総合戦略を策定すること、また策定にあたり、産官学金労言士で構成する推進組織で審議することについて通知</u>
平成27(2015)年6月	【市】「恵庭創生懇談会」設置 > 第1回:6月開催 第2回:7月開催 第3回:10月開催
平成27(2015)年10月	【市】恵庭市総合戦略策定(平成31年度まで)
平成28(2016)年度 ～令和元(2019)年度	【市】毎年度2～4回程度恵庭創生懇談会を開催し、地方創生の取り組みや素次期総合戦略の策定に向けて審議
令和2(2020)年3月	【市】第2期恵庭市総合戦略策定(令和6年度まで)
令和2(2020)年度 ～令和3(2021)年度	【市】新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、恵庭創生懇談会を書面会議として開催

## 地方創生関係交付金の概要

「地方版総合戦略」に基づいて、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組、地域特性を活かした特徴的な事業に対して、国が財政的な支援を行う交付金

### ① 地方創生推進交付金（平成28年度～）

「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づく認定を受けた地域再生計画に記載される地方公共団体の自主的・主体的な取組で、地方創生推進交付金実施計画で申請のあった事業のうち、先導的なものを支援するもの。

#### ◆恵庭市の採択実績◆

広域ネットワークによる商品ブランド化事業（H28～H30）／ガーデンデザインプロジェクト（H28～R2）／「さっぽろ圏」若者定着促進広域事業（H29～R1）／修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業（H29～R1）／いしかりライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業（R2～R4）／外国人も暮らしやすく・活躍できる多文化共生のまちづくり事業（R2～R4）／新ガーデンデザインプロジェクト推進事業（R3～R7）

### ② 地方創生推進交付金（平成28年度～）

「地方版総合戦略」に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりの取組で、地方創生拠点整備交付金整備対象施設の施設整備計画書であった事業のうち、先導的なものを支援するもの。

#### ◆恵庭市の採択実績◆

- ・「花ロードえにわ」（道の駅）と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業（R1）
- ・子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備 事業（R1）

### ③ デジタル田園都市国家構想推進交付金（令和3年度～）

デジタル技術を活用して地域の課題解決や魅力向上に基づく事業を支援するもの。

#### （参考）令和4年6月1日通知「デジタル田園都市国家構想基本方針（案）について」

国では、令和6（2024）年度までに、まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、構想の中長期的な基本的方向を提示するデジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）を策定予定。地方公共団体においても、地方版総合戦略を改訂し、具体的な取組を推進するよう提示あり。

## 恵庭創生懇談会開催要領

### (趣旨)

第1条 恵庭創生懇談会（以下「懇談会」という。）は、「恵庭創生懇談会の開催について（平成27年5月1日市長決裁）」に定めるもののほか、この要領に定めるところによる。

### (所掌事務)

第2条 懇談会の所掌は、次のとおりとする。

- (1) 「恵庭市総合戦略」の推進及び進捗状況の検証に関すること。
- (2) その他恵庭市の創生に必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 懇談会の構成員は、10名程度とする。

- 2 構成員は、地域の関係者「産官学金労言士」の中から市長が指名する。
- 3 特別の事項を検討するため必要があるときは、懇談会に臨時構成員を置くことができる。

### (構成員)

第4条 構成員の任期は、1年とする。

- 2 構成員は、再任を妨げない。ただし、補欠の構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会議)

第5条 懇談会は、市長が招集する。

- 2 懇談会に座長を置き、構成員の互選により定める。
- 3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 4 座長に事故があるときは、座長のあらかじめ指定する構成員がその職務を行う。
- 5 懇談会は、必要に応じ関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

### (報償)

第6条 構成員への謝礼として、会議出席1回につき6,000円を支払う。

### (補則)

第7条 この要領に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

### 附 則

この要領は、平成27年5月1日から実施する。

この要領は、平成28年4月25日から実施する。

この要領は、平成29年6月5日から実施する。

第2 恵庭市総合戦略ガーデンシティプラン 令和3年度(計画2年目)数値目標・KPI 資料2

※ 実績及び数値目標については、直近(最新)の数値を記載

進捗率欄が 黄色 ……目標達成  
赤色 ……新型コロナウイルスの影響あり

【基本目標(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり】						
区分	計画の基準値	数値目標(第2期)	R3年度実績値	進捗率	備考	
KPI	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R3 539,505	85%	(内訳) ・えにあす:484,105人 ・黄金ふれあいセンター:33,890人 ・かしのもり:21,510人
	都市間連携による商品開発数(5年間累計個数)	R元 2	R6 10	R3 3	30%	(内訳)R2:2個 R3:1個
	エコバス利用者数(人)	H30 299,270	R6 300,000	R3 263,697	88%	
	最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合(%)	H30 28	R6 30	R3 15.5	52%	R3年度恵庭市市民意識調査結果より
	公共施設床面積(㎡) ※目標値より下回ることが目標	H30 254,169	R6 252,661	R3 252,338	100%	
	PPP・PFI件数(件)	H30 18	R6 23	R3 22	96%	

【基本目標(2)安全安心に住み続けたいまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	市ホームページセッション数(セッション)	H30 971,727	R6 1,000,000	R3 1,934,150	193%	
	住み替えフェア参加者数(5年間累計人)	H30 216	R6 500	R3 0	0%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止
	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R3 539,505	85%	(内訳) ・えにあす:484,105人 ・黄金ふれあいセンター:33,890人 ・かしのもり:21,510人
	応急手当講習受講者数(累計人)	H30 35,000	R6 42,000	R3 40,600	97%	(内訳)R1:2,169人 R2:2,381人 R3:1,050人

【基本目標(3)恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R3 1,452,937	92%	
	製造品出荷額等(億円)	H29 1,560	R5 1,600	R1 1,607	100%	2020年(令和2年)工業統計調査結果※2021年(令和3年)経済センサスにおける令和2年分製造品出荷額等の結果は現時点で未公表
	ふるさと納税額(万円)	H30 33,294	R6 100,000	R3 182,471	182%	
	産業連関表作成	H30 -	R6 作成	R3 -	-	
	COOL CHOICE賛同登録件数(累計件)	R元 3,693	R6 9,000	R3 5,716	64%	(内訳)R2:2,023件 R3:0件 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、登録を呼びかける機会となるイベントを中止
	地元(大学・専門学校)卒業者の地元就職(人)	H30 25	R6 50	R3 29	58%	R3年度学校基本調査(独自調査)結果 ※対象:市内2大学、3専修学校
	農福連携による就労者・就労訓練者数(5年間累計人)	H30 2,479	R6 7,000	R3 8,326	119%	(内訳)R2:5,078人 R3:3,248 ※受け入れ農家での作業内容追加による就労者及び就労訓練者数の大幅増
	起業件数(5年間累計件数)	H30 42	R6 70	R3 45	64%	(内訳)R2:22件 R3:23件
	日本語習得支援ボランティア育成セミナー・講座参加者数(5年間累計人)	R元 0	R6 100	R3 107	107%	(内訳)R2:39人 R3:68人
	オーダーメイドツアー数(5年間累計件)	R元 12	R6 70	R3 7	10%	(内訳)R2:4件 R3:3件 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため申込件数激減

【基本目標(4)希望を持って子育てしたいまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第1期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	子育て応援企業表彰件数(5年間累計件)	H30 6	R6 5	R3 7	140%	(内訳)R2:3件 R3:4件
	合計特殊出生率	H30 1.33	R6 1.6	R3 1.20	75%	令和2年度人口統計調査結果及び令和2年4月1日の市内人口により算出
	土曜授業延べ日数(日)	R元 32	R6 38	R3 28	74%	※新型コロナウイルス感染症による開催日数の減

↓  
 それぞれの基本目標で定めたKPI(重点業績評価指標)が達成されることで、  
 総合戦略が目指す目標(「数値目標」)の達成が期待。

○数値目標						
区分	計画の基準値	数値目標(第1期)	実績値	進捗率	備考	
数値目標	純移動数(累計人)	H30 562	R6 822	R3 591	72%	転入者数-転出者数 (内訳)R2:302人 R3:298人
	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R3 1,452,937	92%	
	女性就業率(%)	H27 42.9	R6 上昇	R2 44.5	上昇	令和2年国勢調査結果より
	若年者就業率(%)	H27 53.2	R6 上昇	R2 55.6	上昇	令和2年国勢調査結果より
	合計特殊出生率	H29 1.33	R6 1.6	R2 1.20	75%	令和2年度人口統計調査結果及び令和2年4月1日の市内人口により算出

# 令和3年度 地方創生推進交付金の交付実績

資料3

[単位:円]

## □地方創生推進交付金(ソフト事業:3事業)

(補助率:事業費の1/2以内)

### A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(1年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
A-①	恵庭まるごとアプリの開発	15,756,000	7,878,000	15,757,280	7,878,640
A-②	恵庭の魅力拡充 (新しい観光スタイルの構築とホーストレッキング事業)	3,800,000	1,900,000	2,993,700	1,496,850
A-③	恵庭の魅力拡充(シティセールス事業)	2,940,000	1,470,000	2,809,541	1,404,770
A-④	市民健康づくり(歩くことを通したまちづくり事業)	725,000	362,000	723,996	361,998
A-⑤	市民健康づくり(サイクルフェスタ事業)	2,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000
A-⑥	市民健康づくり(東京オリンピック・パラリンピックホストタウンによる気運醸成)	120,000	60,000	89,963	44,981
A-⑦	移住定住の推進	4,130,000	2,065,000	3,898,246	1,949,123
小計		29,471,000	14,735,000	28,272,726	14,136,362

### B:外国人も暮らしやすく・活躍できる多文化共生のまちづくり事業<R2年度~R4年度(2年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
B-①	地域住民との関わりに関する課題を解決するための事業	365,000	182,000	7,626	3,813
B-②	日本語習得支援に関する事業	879,000	440,000	96,042	48,021
B-③	生活支援事業	360,000	180,000	0	0
小計		1,604,000	802,000	103,668	51,834

### C:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業(北海道、近隣市町との連携事業)<R2年度~R4年度(2年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
C-①	就職促進事業	4,000,000	2,000,000	4,000,000	2,000,000
C-②	起業家支援事業	1,513,000	756,000	1,203,040	601,520
小計		5,513,000	2,756,000	5,203,040	2,601,520

<b>地方創生推進交付金合計</b>	<b>36,588,000</b>	<b>18,293,000</b>	<b>33,579,434</b>	<b>16,789,716</b>
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

(補助率:事業費の1/2以内)

## □地方創生拠点整備交付金(ハード事業:-事業)

※令和3年度の申請なし

## □デジタル田園都市国家構想推進交付金

※令和3年度の申請なし

# 【A-①】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 恵庭まるごとアプリの開発

企画課

「観光」、「市民生活」、「経済」、「まちづくり」の4つの異なる分野の施策をつなげ、一体的な施策展開を進めることにより相乗効果を引き出すことを目的として、分野の異なる施策において、共通で使用可能な恵庭市公式ポータルアプリを開発した。今後は、恵庭の特産品が購入できる「お買物」機能や、ユーザー自身で健康管理などの情報を入力できる機能及びポイント付与機能など、アプリ機能の拡充に向けて基盤整備・更新を進める。

## 関連数値目標・KPI

恵庭市公式ポータルアプリ	KPI(R3) 目標値	KPI(R3) 実績値
アプリへの登録者数	500人	0人(※)

(※) リリースが令和4年6月となったため

## 担当コメント

令和3年度は、公式アプリ開発に向けて公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定した。事業者の選定に時間を要したことから、アプリ開発全体の進捗にも若干の遅れが生じたが、年度内に基本的な開発・基盤整備を完了させた。一部機能の動作確認や内容拡充などの対応により、リリースは令和4年度としている。

今後は、ユーザーによる市内飲食店や観光施設等周遊を促すポイント機能の付与をはじめ、より充実した内容を目指して開発を進める。

## 取組事例 恵庭まるごとアプリの開発

### 公式アプリ「えにわか」

#### ○主な取組

- ・恵庭市公式ポータルアプリ「えにわか」を令和3年度中に開発
- ・ガーデンフェスタ北海道2022の開催前である令和4年6月15日にリリース
- ・ホーム画面に11個のアイコンを配置
- ・防災・災害情報、ごみ分別・リサイクル情報、健康・子育て情報、公共施設といった恵庭市のお知らせのほか、イベント、観光グルメ、ふるさと納税返礼品サイトなどの各種情報を掲載
- ・市内店舗や各種施設の検索に加え、ルート案内も可能な地図機能を搭載



### シティセールス庁内推進検討委員会の開催

アプリの開発にあたり、庁内関係部署と必要な機能について適宜協議検討を行った。計5回開催。

- ・第1回 (R3. 4. 28)
- ・第2回 (R3. 6. 18)
- ・第3回 (R3. 6. 25)
- ・第4回 (R3. 10. 12)
- ・第5回 (R3. 12. 27)

## 【A-②】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充事業（新しい観光スタイルの構築とホーストレッキング事業）

花と緑・観光課

2020年11月にオープンした「花の拠点（はなふる）」を核としたアフターコロナを見据えた新たな観光スタイルの創出や 札幌恵庭自転車道整備を契機としたサイクルツーリズムの推進のためにシェアサイクル事業を実施する。また、緑のふるさと森林公園では、新たな観光コンテンツの造成のため、乗馬体験などのホーストレッキング事業を実施し、新しい恵庭の魅力拡充を目指す。

### 関連数値

シェアサイクル事業	2021 (R3)
えにくる利用者数	286人

### 担当コメント

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、行動制限を実施したことから、過半数が市内利用という結果となった。

令和4年度は、近隣市町村への周知やサイクルマップの製作を実施し、観光目的の利用を促していく。

また、運用期間中には「ガーデンフェスタ北海道2022」が開催されることから、イベント来場者への周知を図っていく。

一方、残念ながらホーストレッキング事業については、新型コロナウイルス感染防止のため公共施設閉鎖による影響により事業展開ができなかったが、次年度以降も新たな魅力拡充のため実施に向けて計画をしたい。

### 取組事例

#### 恵庭の魅力拡充事業

#### 1. 電動アシスト付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築

##### ○事業説明

- ・ R3. 5～恵庭シェアサイクル「えにくる」開始
- ・ サイクルポートを3カ所設置（恵庭駅・恵み野駅・花の拠点）
- ・ 電動アシスト付き自転車 14台導入
- ・ 24時間、自転車をレンタル・返却できるシステムを導入

##### ○主な成果（5月10日～10月31日）

- ・ 利用者数 286人
- ・ 売上 118,195円



#### 2. 緑のふるさと森林公園ホーストレッキング事業の実施

##### ○事業説明

市内観光コンテンツ造成のため緑のふるさと森林公園を活用したホーストレッキング事業を実施する。



**令和3年度はコロナ禍により開催中止。**



# 【A-③】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 恵庭の魅力拡充事業(シティセールス)

企画課

恵庭市の魅力や資源を庁内外へ戦略的にアピールするため、恵庭市シティセールス推進委員会を開催。R3年度は特にInstagramを活用した情報発信の有用性について意見交換を行い、フォロワー数増加を目指す取り組みについて協議した。また、恵庭ブランド確立のため、「ガーデンシティえにわ」のバックパネル・缶バッジ・横断幕などを製作し、市内外に向けPRした。

## 関連数値目標

Instagram	R2年度末	R3年度末	R4.6月末
フォロワー数	402人	1,608人	5,506人

## 担当コメント

令和3年度は、令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、【ガーデンシティのブランド確立】を推進する取り組みを中心に実施した。具体的には、「ガーデンシティえにわ」のロゴマークがデザインされたバックパネルや缶バッジの製作、市内各所への横断幕の掲示のほか、「ガーデンシティえにわ」を前面に押し出したラジオCMおよびテレビCMを放送した。

加えて、シティセールス推進委員会において、統一のハッシュタグ「#ガーデンシティえにわ」を付けたInstagramでの情報発信が、ネームバリューやブランドイメージの向上に効果的であると議論されたことから、それを踏まえて毎日積極的に投稿したところ、フォロワー数が激増し、恵庭の魅力を広く知ってもらうなどの成果につながっている。また、InstagramをはじめとするSNSのほか、デジタルを活用した情報発信についても取り組みを進めている。

## 取組事例

### えにわシティセールス事業

#### 恵庭ブランド確立のための「ガーデンシティえにわ」PR

恵庭のブランドイメージ向上のため「ガーデンシティえにわ」を前面に出した各種CM及びバックパネル・缶バッジ・横断幕を製作しPRを図った。



#### ○主な取組

- ・テレビスポットCM (UHBにてR3. 12. 1~R3. 12. 31で22本)
- ・ラジオCM  
(地域FMラジオいーにわ)
- ・じゃらん掲載等
- ・バックパネル製作
- ・缶バッジ製作 (500個、主に庁内配布)
- ・横断幕製作・掲示 (市内3カ所掲示)



#### 恵庭市シティセールス推進委員会の開催

#### ○取組

令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、市内の学識経験者、関係団体からの推薦者、公募市民からなる委員会を開催。Instagramを活用したシティセールスについて意見交換を行った。

- ・第1回開催 (R3. 11. 26)
- ・第2回開催 (R4. 3. 18)



# 【A-④】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

## 市民健康づくり（歩くことを通したまちづくり事業）

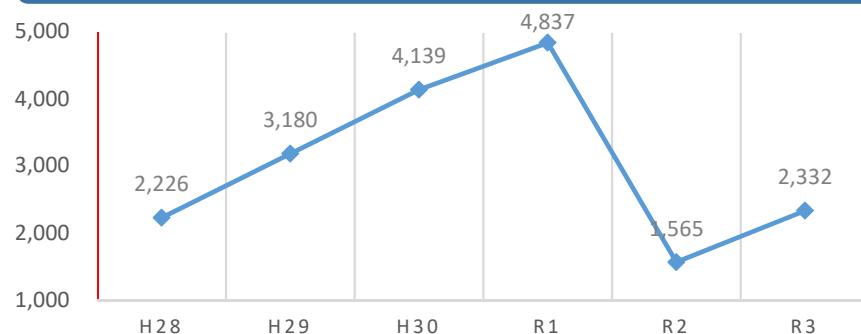
健康スポーツ課

歩くことの楽しさを伝える取組の実施により、市民全体の健康意識向上や、健康増進活動及び地域交流の推進を図り、健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康づくりへの機運醸成を目指す。

### 関連数値目標・KPI

歩くことを通したまちづくり事業	KPI目標値 (最終目標)	KPI実績値 (R3)
参加者人数	2,000人	2,332人

### 事業参加者数の推移



### 担当コメント

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更や中止になったイベントがあったものの、昨年度実施できなかった集団でのイベントを、感染対策を取りながら実施する等、昨年度の結果や今年度の状況を踏まえ、withコロナの対応をとりながら事業を実施した。

事業全体の参加者数は2,332人で、昨年度の1.49倍の767人が増加し、少しずつ参加者が戻ってきていると考えられる。

### 取組事例 — 市民健康づくり事業

#### 歩くことを通したまちづくり事業

##### ○歩くイベントの実施

働く世代と健康無関心層を主な対象として、楽しく歩く体験や交流のきっかけづくりとなるイベントを実施。

- ・Jリーグウォーキング  
明治安田生命保険相互会社と共催。
- ・冬のウォーキングセミナー  
オリンピックによる講話と体験
- ・健康体操・ノルディックウォーキング教室
- ・歩くパネル展



##### ○えにわ健康チャレンジの実施

ウォーキングのきっかけづくり及び市内の施設利活用周知を目的に実施。

- ・ウォーキング&クイズラリー
- ・えにわ冬の健康チャレンジ・クイズラリー



##### ○まちなか休憩所の設置

市内ウォーキングコース近郊の公共施設、民間施設等を利活用して、「まちなか休憩所」を設置。まちなか休憩所では、以下の内容を市民に提供。

- ・トイレや休憩利用・健康情報を提供・クイズの設置・参加記念品配布



# 【A-⑤】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

## 市民健康づくり（サイクルフェスタ事業）

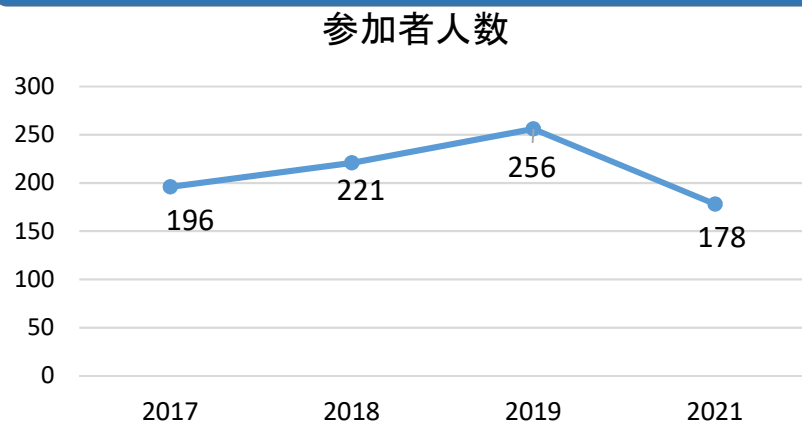
まちづくり推進課

サイクルフェスタ・恵庭運営協議会が主催となり、恵庭市の魅力やまちの再発見、健康増進など、様々なニーズや趣向を兼ね備えた自転車イベント「サイクルフェスタ・恵庭」を通じて、自転車利用促進と「歩いて暮らせるまちづくり」による地域の活性化を図った。

### 関連数値

	2017	2018	2019	2020	2021
参加者人数	196人	221人	256人	中止	178人

### 参加者人数の推移



### 担当コメント

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の中で、開催方式を見直し、より多くの方々が安全に参加ができるようスマホを活用した期間型イベントを実施しました。コロナ禍により前々年度から参加者数が下がっていますが、市内の参加者は前々年度より12%増えており、地元の方も気軽に楽しめるイベントに変化しています。今後も本イベントを重ねることで、自転車を通じた豊かな自然やガーデニング、農業環境、食の体験により恵庭の魅力を発信していきます。

### 取組事例 「サイクルフェスタ・恵庭」事業

#### サイクルフェスタ・恵庭の開催

##### ○主な取組

- ・2018年度より、本イベントの取り組みに協力頂ける市内の企業・団体等と市が連携し、事業の更なる発展と運営体制の強化を図るため運営協議会を設立しイベントの開催を実施。
- ・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の中で、より多くの方々が安心して参加ができるよう従来の1日に一斉に集まるイベント形式から開催方式を一定期間、個々の参加者で市内チェックポイントを周遊する形式に変更し、獲得ポイントに応じて景品交換の抽選を実施。

##### ○主な成果

- ・運営協議会の設立達成

- ・協議会構成員：19社
- ・協賛企業：10社
- ・後援：5団体

- ・令和3年9月15日(水)～令和3年9月30日(木)：イベント開催  
 申込者人数：189名（内大人167名、子ども22名）  
 参加者人数：178名（内大人157名、子ども21名）  
 参加者内訳  
 市内参加：53名（前々年比12%↑）、市外参加：125名
- ・令和3年10月3日(日)：抽選・景品交換会  
 参加者人数：153名

##### 【アンケート結果】

- ・初参加者：59.6%
- ・イベント満足度：95.7%  
 （満足～やや満足）



# 【A-⑥】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり(東京オリンピック・パラリンピックホストタウンによる機運醸成)

企画課

東京オリンピック2020において、グアテマラ共和国のホストタウンとして競歩競技選手団を受け入れるにあたり、市民の機運醸成を目的とした事前イベントを企画していたが、コロナ禍により直接的な交流の機会を設けることができなかつたため、代替としてパネル展示を行った。また、オリンピック開催後も、市民のスポーツや健康づくりへの関心の高まりをフォローするため、リレハンメルオリンピックの金メダリストを講師に招き、冬の健康づくりに関するセミナーを開催した。

## 関連数値

冬の健康づくりセミナー	2021 (R3)
参加者数	35人

## 担当コメント

JR恵庭駅と近隣商業施設をつなぐ空中歩廊壁面や市役所総合案内付近スペースにパネルを展示し、グアテマラ共和国の国の様子・伝統・食文化等を紹介しました。また、グアテマラ共和国では競歩競技が盛んで、過去に夏季オリンピックで銀メダルを獲得したことを紹介しました。写真を多く掲載する等の工夫をしたことで、毎日、複数の方が足を止めて観覧している様子が確認できました。

また「冬の健康づくりセミナー2021」では、ウォーキングのまちとして、オリンピックである阿部雅司氏を招きオリンピックの講話及びノルディックウォーキング体験を行いました。特に用具の使い方や歩く姿勢等について指導があり、初めて体験する方でも楽しみながら体験できるセミナーになりました。

## 取組事例

### 東京オリンピック2020ホストタウンによる機運醸成

#### グアテマラ共和国ホストタウンに関するパネル展示

JR恵庭駅付近空中歩廊: R3.7.1~R3.8.8



恵庭市役所: R3.6.21~R3.8.10



#### 東京オリンピック開催後のフォローアップイベント

- ・日時: R3.11.18(木)10:00~11:30
- ・会場: えにあす
- ・講師: 阿部雅司氏(リレハンメルオリンピック・ノルディック複合団体金メダリスト)
- ・内容: オリンピックの講話&ノルディックウォーキングの体験



# 【A-⑦】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

## 移住定住の推進

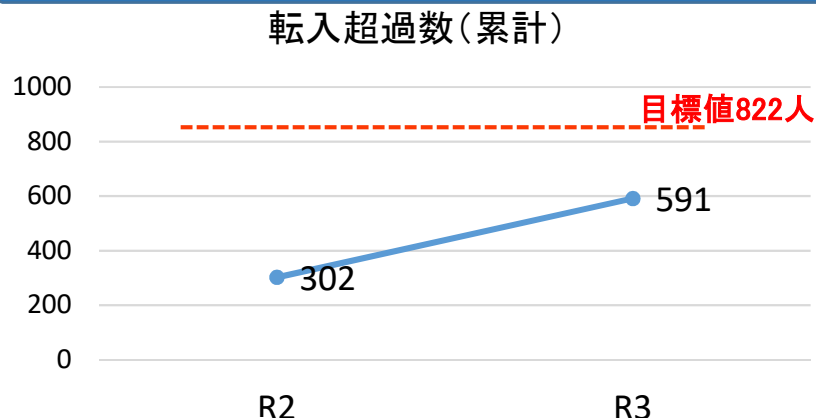
まちづくり推進課

恵庭市内の求人情報の情報収集及び発信、北海道移住定住サイト「北海道で暮らそう!」、大阪梅田での移住パンフレットの配置など、恵庭市の情報発信を行い、首都圏での移住相談会やオンライン移住相談会など実施した。

### 関連数値目標・KPI

	KPI目標値 (R2～R6累計)	R2	R3
転入超過数 (転入者数－ 転出者数)	822人	302人	289人

### 転入超過数の推移



### 担当コメント

移住相談会の実施や移住希望者を対象とした恵庭市内の案内を行うオーダーメイドツアーのほか、オンライン移住相談など個々のニーズに応じた対応を実施。また、フローラルタウン島松などの新規住宅地の開発等の総合的な取組を実施。これらが奏功し、恵庭市への転入者は、2年でKPI目標値の7割を占めた。

今後においても個々のニーズに応じた移住促進施策、新規住宅地の開発や既存住宅の流通促進の取り組みを推進することにより、転入者の増加が期待される。

### 取組事例 移住促進事業

#### 移住相談会の実施

##### ○主な取組・成果<対面式相談会>

- ・北海道移住・交流フェア2022（大阪）…コロナ禍により中止
- ・北海道移住・交流フェア2022（東京）…28組参加（内1組移住）
- ・千歳市×恵庭市合同移住相談会…コロナ禍により未実施
- ・さっぽろ連携中枢都市圏移住相談会…コロナ禍により中止
- ・住み替えセミナー…コロナ禍により未実施
- ・北海道マイホームセンター恵庭市移住相談会…コロナ禍により未実施

##### ○主な取組・成果<オンライン相談会>

- ・北海道オンライン移住相談会…4組参加
- ・恵庭市オンライン移住相談…4組参加（内1組移住）

#### 恵庭市への移住に関する情報発信

##### ○主な取組

- ・「北海道で暮らそう」HPのメインバナー掲載
- ・北海道マイホームセンターでのカタログコーナー設置
- ・大阪梅田に恵庭市のポスター掲示及び移住パンフレットの配置
- ・恵庭市移住定住サイトの運営管理
- ・恵庭市移住者向け求人情報冊子「EniwaJobs」の作成

#### オーダーメイドツアーの実施

##### ○主な取組・成果

- ・恵庭市への移住を考えている方を対象に、希望に合わせたプランを作成し、ジャンボタクシーを貸し切りオーダーメイドの恵庭市内案内ツアーを行う（3時間・6時間コース）
- …3組参加（内1組移住）

#### 移住者交流会の実施

##### ○主な取組・成果

- ・恵庭市への移住してきた人達の交流会を開催
- …7名参加（コロナ禍により他13名キャンセル）



2017年以降、恵庭市内では東南アジア国籍を中心とした外国住民が急増しており、そのほとんどが日常生活におけるコミュニケーションの基本となる日本語の習得が不十分であることから、日本語を学ぶ場を希望する外国住民への支援を積極的かつ継続的に実施。特に令和3年度は、日本語習得支援ボランティアの養成講座を開催するとともに、地域日本語教室の運営グループの組織、教室運営方法の検討を行った。

関連数値目標・KPI

日本語習得支援ボランティア(日本語サポーター)の育成セミナー及び講座	KPI目標値 (R2~R4 累計)	KPI実績 (R2) ※1年目	KPI実績 (R3) ※2年目
参加延べ人数	60人	39人	68人

担当コメント

令和2年度に実施した日本語ボランティア入門養成講座につづき、日本語習得支援ボランティアの養成を目的として、複数回、講座及びセミナーを実施しました。参加された方々の大半は日本語習得支援の経験がなく、支援方法については様々な意見が混在する状況でした。しかし、ボランティア会議や各種養成講座及びセミナーを重ねるにつれ、参加者の地域日本語教室のイメージ・意見の統一を図ることが出来ました。

令和4年度については、令和2年・3年で得られた成果を基に、外国人を招いて地域日本語教室を開始し、安定的な教室運営を目指しています。

取組事例 — 日本語習得支援に関する事業

日本語ボランティア養成講座・セミナーの開催

令和2年度に続き、ボランティア活動に興味がある市民を対象として、複数回のボランティア養成講座及びセミナーを実施した。全4回(合計5日間)の講座を実施して、延べ68名の参加があった。

これらの活動を通じて、参加者は日本語教育空白地域における地域日本語教育の重要性や、生活者として必要な日本語を学習するための対話型学習活動についての理解を深めた。



日本語ボランティア会議

恵庭市において地域日本語教室を立ち上げるため日本語習得支援ボランティアの会議を2回実施し、延べ28名が参加した。また、日本語習得支援ボランティアグループ名を「恵庭外国人サポートクラブ」に決定した。今後は、本グループが中心となり、地域日本語教室を立ち上げ、運営していくことになる。



# 【C-①②】いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業 商工労働課

北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心として、地元定住を目的とし、地元の企業を知り、就職に繋げる取り組みや市内での起業を促進する取り組みを行った。

## 関連数値

就職促進事業	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
参加者総数	119人	55人	23人	76人
就職者総数	59人	6人	3人	24人

### ○起業支援事業

- ・令和3年度起業塾の受講生から2名が起業。
- ・起業支援補助金の利用者等を含めると令和3年度中に23名が起業。

## 担当コメント

就職促進事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じ、1事業を対面式とした。その結果、企業、職種に偏りは見られるものの、参加者、就職者ともに昨年度より大きく増加した。今後も、感染症と向き合いつつ、開催様式、運営を整えていきたい。

起業支援事業については、起業塾に参加した受講生同士のネットワークが形成される等の効果のほか、2名が起業した。

毎月開催の起業個別相談会にも一定の参加があり、数年前に起業した方への対応によるフォローアップも行い、きめ細かな支援を行っている。

今後も効果的な支援を継続し、市内での起業を促進したいと考えている。

## 取組事例

### 恵庭の企業のPRと就職促進

#### 就職促進事業

##### ○主な取組

- ・web合同企業就職説明会（正社員向け）
- ・合同企業就職説明会（パート・アルバイト向け）

##### ○主な成果

- ・web合同企業就職説明会（正社員向け）⇒参加者24名
- ・合同企業就職説明会（パート・アルバイト向け）⇒参加者52名
- ・2事業による就職決定者は24名



#### 起業支援事業

##### ○主な取組

- ・開業するときの様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶセミナーである「恵庭起業塾」の開催。
- ・毎月一回開催している中小企業診断士による専門的な相談が受けられる起業個別相談会の開催。

##### ○主な成果

- ・起業塾参加人数：17名
- ・個別相談会参加人数：20回（実人数14人）



# 令和4年度地方創生推進交付金の採択状況について

資料4

[単位:円]

□地方創生推進交付金(ソフト事業:3事業)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(2年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①恵庭まるごとアプリの開発	20,092,000	10,046,000	・観光&ウォーキングアプリの拡充及びポイントアプリ開発 ・アプリシステム利用料 ・アプリ登録者拡大に伴う広報活動
②恵庭の魅力拡充	4,758,000	2,379,000	・電動付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築 ・市内観光施設でのホーストレッキング事業 ・シティセールス事業
③市民健康づくり	3,755,000	1,877,000	・歩くことを通したまちづくり事業 ・サイクルフェスタ事業
④移住定住の推進	5,500,000	2,750,000	・移住定住希望者への支援
小計	34,105,000	17,052,000	

B:外国人も暮らしやすく・活躍できる多文化共生のまちづくり事業<R2年度~R4年度(3年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
地域住民との関わりに関する課題を解決するための事業	65,000	32,000	・多文化共生のまちづくり連絡協議会開催 ・在住外国人及び地域住民へのニーズ・意識調査
日本語習得支援に関する事業	696,000	348,000	・日本語習得支援ボランティアの育成 ・日本語教室の開催
生活支援事業	440,000	220,000	・相談体制の整備(多文化共生のまちづくり連絡協議会をベースとするため事業費なし) ・行政デジタルを活用した各種情報のやさしい日本語及び多言語整備
小計	1,201,000	600,000	

C:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業(石狩振興局取りまとめ事業)<R2年度~R4年度(3年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
就職促進事業	4,000,000	2,000,000	合同企業説明会、求職者向け職業相談事業、企業担当者向けセミナー
起業家支援事業	1,513,000	756,000	起業支援・事業承継支援相談、起業塾
小計	5,513,000	2,756,000	

<b>地方創生推進交付金合計</b>	40,819,000	20,408,000
--------------------	------------	------------

□地方創生拠点整備交付金(ハード事業:申請なし)

□デジタル田園都市国家構想推進交付金(申請なし)



## ポストコロナのまちづくり戦略形成事業 概要

### 1 事業の目的・内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による急激な社会変化への対応およびポストコロナを見据えた新しいまちづくりの推進を目的とした若手職員による政策研究。

### 2 検討体制

本市の政策アドバイザーである小磯修二氏を講師に迎えて開催した講演会「政策力の向上に向けて、コロナの教訓から」（2021年4月13日開催）の職員アンケートより、以下の5つのテーマを選定し、テーマごとに1班3名で構成。

<5つのテーマ>

※講演会後の職員アンケートからみた、ポストコロナを見据えた新しいまちづくりの推進に向けて検討が必要だと思う分野

【第1班】デジタル化 【第2班】働き方改革 【第3班】地域経済

【第4班】地域活動 【第5班】高等教育機関との連携

### 3 事業実施経過

- ・ 4月13日 講演会「政策力の向上に向けて、コロナの教訓から」開催
- ・ 7月5日 ポストコロナのまちづくり戦略形成事業会議(キックオフ)
- ・ 9月16日 小磯先生との意見交換会①
- ・ 12月17日 中間報告
- ・ 令和4年3月1日 小磯先生との意見交換会②
- ・ 令和4年3月17日 政策提言提出
- ・ 令和4年3月23日以降 提言内容について職員ポータルにて情報発信
- ・ 令和4年3月23日～4月8日まで職員意見受付(管理職員は必須)

※このほか、各班において個別に調査・研究・検討を進め、毎月5日までに先月の検討内容をまとめ、事務局(企画課)経由で随時小磯先生に報告

### 4 政策提言概要

別紙参照

### 5 今後の予定

各グループからの政策提言を企画課にて具体的な事業に分類のうえ一覧化し、全庁で共有。担当所管に事業化に向けた検討・推進を依頼し、進捗状況について定期的に確認。また、デジタル化を横ぐしとして各テーマを連携させて、総合戦略「施策の横

断的展開」への反映を予定。詳細なスケジュールは以下のとおり。

- ・ 4月～ 担当者と提案者の意見交換により提案内容への理解を深める。  
意見交換を踏まえて担当所管において事業化に向けた検討を開始。検討結果について5月末頃を目途に企画課に報告。
- ・ 6月～ 検討結果を踏まえ、総合戦略「施策の横断的展開」への反映に向けた検討開始。令和4年度実施事業については、第2回定例会にて補正予算要求を検討。
- ・ 7月～ 令和5年度当初予算が必要な事業については政策予算要求を行う。

## ポストコロナのまちづくり戦略形成事業 政策提言概要

### 【第1班】デジタル化

コロナ禍による生活スタイルの変容を十全に把握したうえで、全庁が統一したDXの考えを持ちながらデジタル技術『も』活用することで市民の利便性向上を目指す。そのための具体的な提案事業は以下のとおり。

- (1) マインドセット（教育）、変革機運の醸成
- (2) 統括的組織の整備
- (3) 専門人材の配置（外部委託含む）
- (4) 誰ひとり取り残さないためのサポート体制と施策

また、1年目に実施する具体的施策としては以下のとおり。

- (1) 市長以下全員参加の学習会（マインドセット）
- (2) 地域デジタル人材の招聘（庁内デジタル人材育成）
- (3) BPR各部1事業フロー作成（業務の見える化）

### 【第2班】働き方改革

コロナ禍により、社会全体で起きた働き方の変容を恵庭市でも積極的に受け止め、恵庭市職員が率先して働き方を見直すことで、官民一体となって「新しい働き方」による「働きやすいまち」の実現を目指す。そのための三つの視点と具体の提案内容は以下のとおり。

- (1) 一人ひとりのライフステージに合わせたワーク・ライフ・バランスの実現  
⇒「フレックスタイム制度」の導入に向けた検討
- (2) 育児に加え介護と仕事の両立が今後課題となることを見据えた業務効率化のアプローチ  
⇒「仕事と育児・介護の両立支援プログラム」策定
- (3) 勤務先が固定されなくなったメリットを生かした新たなコミュニケーションの環境整備  
⇒恵庭版コワーキングスペースの設置

### 【第3班】地域経済

コロナショックから回復し、かつ将来も自立した地域経済を維持するために、域内需創出と経済循環加速化により、財・サービスの移出増と移入減を促進するとともに、好立地や「花のまちづくり」などの景観、きれいな水といったクリーンな恵庭の特色を活かし、観光分野の強化を目指す。そのための具体的な政策提言は以下のとおり。

- ・ 1 需要創出スキーム
  - (1) ワークেশン事業の推進
  - (2) 「えにわ花の馬車 Café」の実施
  - (3) ビアガーデンシティ恵庭の開催
- ・ 2 循環創出スキーム
  - (1) ポータルアプリ「えにわか」の活用
  - (2) 位置ゲームアプリ「テクテク恵庭めぐり」の導入

### 【第4班】地域活動

『地域共生による暮らしやすいまち』を目指し、以下の4つの方針に基づき具体的な政策提言を提示。

- (1) 多文化共生による地域活性化（外国人との連携による地域活性化）  
⇒情報発信の充実、在住外国人が主役になれる場の創出ほか
- (2) 地域を基盤とする包括的支援の強化（学校とともにある地域づくり）  
⇒重層的支援体制整備事業担当部署の創設、重層的支援体制整備事業の検討
- (3) コロナ禍における地域活動の在り方  
⇒地域活動デジタル化の推進（アプリ導入、アプリ開発）、デジタル人材の確保（ICT推進員の選出）ほか
- (4) 市民が必要としている行政施策の検討  
⇒恵庭市まちづくり基本条例に基づく協働まちづくり事業提案制度の創設

## 【第5班】高等教育機関との連携

ポストコロナ（アフターコロナ）において必要とされる非常事態や環境変化への対応に優れる“強くしなやかで持続可能なまちづくり”の実現に向けて、高等教育機関を有する環境を活かし、「えにわ共創フロント」の構築により、新しい価値・ビジネスチャンスを産学官共に創出する。具体的な提案は以下のとおり。

### (1) えにわ共創フロント

えにわ共創フロント（＝幅広い人材を受け入れ、あらゆる人材が能力を発揮して、アイデアを発掘できる場）を市が主体となって構築する。

### (2) えにわ共創リエゾン

えにわ共創フロントの実現へ向けた第一歩として、ホームページ等を活用した連携アイデアの募集と賛同する関係者との橋渡しを行う“えにわ共創リエゾン”を市役所内に設置する。

### (3) 産学官連携アイデアの一例

- ・スポーツを軸とした取り組み（“生活習慣病・介護予防”ほか）
- ・子ども教育を軸とした取り組み（“発達教育の実践”、“JICA 外国人研修生の積極的受入れ”ほか）
- ・環境デザイン・ランドスケープを軸とした取り組み（“景観のリフレッシュ・リボーン”、“他事業間連携による資源循環”ほか）
- ・カリンバ遺跡ガイダンス施設を活用した“賑わいづくり”